



志を共にする仲間と連帯し、 組織拡大を勝ち取ろう！

第43回定期大会

JR東海労は6月8日、名古屋市内で第43回定期大会を開催しました。オープニングでは、袴田ひで子さんからのビデオメッセージを披露しました。また、組織外からも多くのメッセージが寄せられました。

淵上委員長は、挨拶で「JR総連と決別し、これまでの企業内労働組合の枠に縛られず、組織展望を切り拓くための闘いを展開してきた。業界誌『ACCESS』にJR東海労の闘いについて掲載された。活用をお願いしたい。組織拡大の闘いを強化しよう」と訴えました。



来賓のJS労柳楽委員長、本部OB会増田会長から、それぞれ挨拶をいただきました。

質疑では、「JR総連からの決別は呪縛から解放され正解だった。JR東海労らしい闘いを展開しよう」「一部OBからの組織破壊がされたが、断固闘ってきた」「『ACCESS』を読んだ。通快だった」などの発言がありました。

本橋書記長は、総括答弁で「会社とうまくやろうとしているJR総連と決別した。私たちは孤立はしていない。大胆に闘いを展開しよう」と訴え、大会は成功裏に終了しました。